

平成 19 年 2 月 16 日
日本海ケーブルネットワーク(株)

日本海ケーブルネットワーク(NCN)放送番組審議会議事録

- ・開催日時：平成 19 年 2 月 10 日（土）AM：11：00～PM：1：30
- ・開催場所：鳥取市富安 2 丁目 1 3 7 番地、新日本海新聞社ビル 6 F 会議室
- ・出席審議委員数：6 名
 - 山内 益夫（会長）
 - 松下 栄一郎
 - 山中 英雄
 - 江本 克也
 - 神田 富美男
 - 田中 仁成（順不同 敬称略）

・議案

報告事項・①NCN（テレビサービス・インターネットサービス）加入状況

- ②倉吉 2 c h 計画案
- ③2007 年春期番組改編案
- ④9 c h 番組内容アンケート状況

審議事項・NCN 自主制作番組に関する意見交換

（審議前に下記の番組 VTR を視聴）

- ①鳥取物産館閉鎖ニュース
- ②ユメイロ
- ③2006.11 鳥取市議会議員選挙速報

・審議の概要

NCN より、①加入状況（テレビサービス加入者数、アナログサービス対デジタルサービス加入比率、インターネット加入者数など）、②倉吉 2 c h（行政・緊急情報放送、L 字放送システム）計画案、③2007 年春期番組改編案、④9 c h 番組内容アンケート状況の報告を行った後、山内会長の進行により自主制作番組について審議が行われました。審議は一問一答形式で進められましたが、議事録では審議内容を各テーマごとに要約させていただきました。

（以下 ○印…審議委員からの意見、●印…NCNからの回答）

<CATVの役割について>

- 地域活性化へのメディアの関わりという戦略をもって動くべきではないか。「事実を伝

えて終わり」ではなく、メディアが主導することがあってもいいのでは？

- ジャーナリズムの観点が必要なのは、ご指摘のとおりです。新聞社の取材力や、記者との連携を強化して活性化に結びつけたいと考えています。
- 期待することは、情報の発信とデータベース化である。コンテンツの保存とデータベース検索システム、双方向システムはどのようになっているのか？
- 現在のところ、テープ媒体のみの保存です。データベース化とVODに向けた動きを次の課題として捉えて、ストリーミングなどできるところから進めていきます。春の改編では、市民参加と地域再発見をテーマにしており、伝統を残すのもCATVの大きな役割と考えています。
- 現在計画中の倉吉2ch（仮称 NCN 中部チャンネル）は、行政情報や緊急情報などの地域に密着した情報をL字放送システムで出せるようになり、地元としては大変ありがたいと思っている。9chとは別の形での情報提供ができるとのことで期待している。
- 地域の皆さんの協力をいただきながら、さらに情報化をすすめて行きたいと考えています。

< C u e U p 9 について >

- 視聴者のニーズをどんな方法でとらえているのか？
- 原点は視聴者の声と考えて、定期的にアンケートによる聞き取りをしています。それによって、関心の高いテーマは何か探っています。
- 繰り返し放送からの脱却を目指して欲しい。
- 企画ものは、現在の枠では伝えきれないのでは？放送時間枠の延長は考えないのか？
- 11名のスタッフで取材活動をしており、各種制約がありますが検討していきます。
- 鳥取で直接見ることができない「信州岩波講座」が自宅で見えたのはとてもありがたかった。サークル紹介、討論番組、鳥取大学・環境大学の市民講座などを放送して欲しい。
- 討論番組は、取り組みをする方向で議論を進めます。
- 番組名の中には、視聴者にイメージがきちんと伝えられるかどうか疑問なものがあるので改善して欲しい。
- 番組名及び内容を含めたイメージが伝わるように、告知方法などについても今後検討していきます。
- 「街角探検隊」は、年配者に人気がある。地域の人が主役になると加入促進にもなる。地図もあわせて掲載してもらおうとその場所に行きやすくなっていいのではないかと？
- ご要望は受け止めて対応します。

<報道番組について>

- 「日本海新聞フラッシュニュース」をよく見る。とてもわかり易くなった。さらに、内容を詳しく知らせて欲しい。
- 記者の勉強が足りない。社会事象を、鳥取大学などの研究機関の力を借りて取材し、深みをつけては？
- ターゲットを決めて、定点観測を行い永続的な捕らえ方による報道をすることが重要ではないか？
- ニュース企画を週2回設けています。注意喚起という一定の使命は果たしていると考えています。今後は、日本海新聞との連携を強化することにより、ニュースを掘り下げる企画にも取り組みたいと考えます。

<アナウンスについて>

- 昨年と比較すると、わかりやすくなった。また、自信のあるアナウンスになった。
- 地元らしさがあればいい。泥臭くてもかまわない。
- アナウンサーは1年ごとの交代がベター。日・週での交代、一般レポーターを探すなど、飽きられない番組作りを望む。
- 番組作り全体の中で、どのような方法があるかを検討中です。

以上